



発行 日本共産党  
春日部市委員会  
春日部市中央  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

# 10月から「幼児教育・保育の無償化」

## 「保育の質」確保を！

5月10日に「子ども・子育て支援法改正案」が成立し、10月から消費税2%引き上げを財源として、「幼児教育・保育の無償化」が始まります。

6月市議会に、実施のための補正予算が提案され、5月30日には松本ひろかず議員が本会議質疑をおこないました。

### 保育所0〜2歳児は

### 原則「有料」のまま

「無償化」の対象は、認可保育所、幼稚園などの3〜5歳児全世帯と、保育所0〜2歳児の住民税非課税世帯です。

認可外保育施設などの利用世帯も上限つきで「無償」にします。

利用料(保育料)以外の給食費、入園費、制服、教材費などは有料です。

### 新たに給食費実費徴収 月額約6200円

保育所関係の「無償化」対象児童数は下記の通りです。(4月1日現在)

出費が多い0〜2歳児の子育て世帯は原則「有料」のまま、消費税増税の負担のみが押しつけられます。

認可外保育所には、これまで補助金はありませんでしたが、10月から最初の5年間は経過期間として、「保育の質」についての条件はなく、保育士基準を満たさない施設なども補助対象となります。

子どもの安全にとって心配な施設でも経営を続けることが可能になり、「保育の質」が置き去りにされる危険があります。

また、これまで保育所の0〜2歳児の給食費(主食1食

25円・副食1食285円)と、3〜5歳児の副食費は保育料に含まれていました。

しかし、幼稚園との整合性をはかるため、給食費は10月から1食350円、月額約6200円が実費徴収されます。

### 子どもの安全・安心の確保 認可保育所の増設こそ急務

「無償化」の費用は、民間保育所の場合は、国が2分の1、県と市が4分の1ずつですが、公立保育所分は市が全額負担します。公立保育所の多い自治体ほど負担が増え、公立保育所の廃止や民営化が加速することは必至です。

松本ひろかず議員は「認可保育所の増設と保育士確保のため待遇改善を行うこと、安全・安心のため『保育の質』を確保すること、完全無償化で保護者の負担を軽減することこそ必要」と主張しました。

### 保育所の「無償化」対象児童数

- ・民間保育所 936人
- ・公立保育所 535人
- ・認定こども園等 1079人
- ・私立幼稚園・預かり 2370人
- ・認可外保育所 162人

### 「無償化」にならない児童数

- ・民間・公立の0〜2歳児 963人  
(住民税非課税世帯を除く)

# 働くルール確立に向けて

## 埼玉土建春日部支部が定期大会

5月19日、埼玉土建一般労働組合春日部支部が、第46回定期大会を開催し、組合員89人が参加しました。

日本共産党からは秋山文和県議会議員と、松本ひろかず・並木としえ・大野とし子・坂巻かつのり各市議会議員が来賓として出席しました。

埼玉土建は建設労働者などでつくる労働組合で、県内最大の組合です。春日部支部の組合員数は3月現在1653人で市内最大です。

### くらしに希望も てる「3つの提案」

来賓として挨拶をした秋山文和県議会議員は「内閣府は6年2カ月ぶりに景気

『悪化』と判断しました。こんな時に消費税10%増税など許すわけにはいきません。

今、国民が求めているのは、消費税増税ではなく、家計を応援し、格差と貧困をなくし、くらしに希望が持てる政治に切り替えていくことです。

日本共産党は、その為の『3つの提案』をおこないました。



その第1は、最低賃金の引き上げや、残業時間の規制などで『8時間働けば普通に暮らせる社会』を作ります。

第2は、高すぎる国保税の引き下げや、減らない年金の実現で『くらしを支える社会保障』を築きます。

第3は、給付型奨学金の支給対象拡大と、全ての奨学金の無利子化。義務教育と幼児保育の完全無償化などで『お金の心配なく学び、子育てができる社会』を作ることです。

必要な財源は7.5兆円。大企業と富裕層へ応分の負担を求めれば実現可能です。参院選勝利で安倍政権を退陣に追い込み、希望が持てる政治を一緒に作っていきましょう」と訴えました。

### 若者に魅力ある 建設産業へ

#### 建設産業へ

大会決議では、安倍政権による強行採決が当たり前に行われるなか、国民生活の分野で矛盾と破綻をきたしている。国民の声が生かされる政治を実現するために、参院選で勝利を勝ち取ることを確認しました。

また、7年連続で設計労務単価の引き上げを勝ち取ってきたが、現場の過酷な労働と低賃金は解消されていない。引き続き、賃金と単価の抜本的改善で働くルールの確立を追求することなどが提案されました。

大会は、質疑・討論の後、決議案の採決と支部役員選挙が行われました。新役員は左記の通りです。(敬称略)

支部長	松島 捨夫
副支部長	東 克男
副支部長	大熊 保夫
副支部長	小松 三江
副支部長	鈴木 邦廣
書記長	増田 和久
書記次長	菊池 純子
書記次長	流石 正一

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日の昼間)内・外 救急電話相談#7119(毎日24時間)

6/9(日) いかわ耳鼻咽喉科医院(外科系)大倉 378-4 Tel746-8733

一ノ割クリニック(小児科系)備後東 1-28-22 Tel731-1771 菊池内科医院(内科系)大場 923 Tel735-0311

6/16(日) 名越内科医院(小児科系)大枝 89 武里団地 1-15-101 Tel735-6627

内田医院(内科系)上吉妻 164 Tel748-0704 松浦婦人科専門クリニック(外科系)一ノ割 1-5-1 Tel735-7851

休日の当番医